

米国北西部 サクランボのシーズンは早期に力強く開始

[FreshFruitPort](#) 2025年6月13日

北西部サクランボ生産者協会 (Northwest Cherry Growers) のサクランボ生産者向けの最新情報は、米国のサクランボ業界にとって良いニュースが詰まっている。

現在、この地域では早生品種のサクランボが収穫されており、予想よりも暖かい天候のために出荷シーズンが早く始まったにもかかわらず、果実のサイズと品質は抜群に良い。

これまでのところ、北西部は1日に25万箱(20ポンド/箱)以上を出荷しており、これまでに100万箱を出荷した。来週初めまでに出荷量は1日当たり35万箱を超えると予想されており、同協会は引き続き今シーズンの総出荷量を2,200万〜2,250万箱と推計している。(1ポンド=約0.4536kg)

カリフォルニア州のサクランボの収穫シーズンが終わりに近づく一方、北西部のサクランボのシーズンは既に始まっており、8月下旬または9月上旬まで続く予想されている。同協会は、カリフォルニア州は1日当たり5万箱(18ポンド/箱換算)未満を出荷しており、合計出荷量は約470万箱と予測されていると付け加えた。

(関連記事) 米国ワシントン州 労働力不足がサクランボの収穫を直撃

[FreshPlaza](#) 2025年6月16日

赤と黄色の甘いワシントン州産サクランボの収穫は月の初めに始まったが、労働市場の予想外の逼迫に直面した。この季節労働のシナリオは、カリフォルニア州から始まり、収穫パターンに従ってワシントン州、オレゴン州、及び北西部のその他の州まで移動する移民労働者に大きく依存している。

専門家達は、いくつかの要因が今年の労働者確保の困難さに影響していると指摘している。サクランボの収穫はカリフォルニア州でより早く始まるが、収穫量が前年に比べて少ないものと見られ、カリフォルニア州と北西部のサクランボの収穫シーズンとの間にはほとんど重複がない。多くの労働者はまだカリフォルニア州の収穫で忙しく、ワシントン州への移動が最大2週間遅れる可能性がある。

さらに、連邦機関による職場の強制捜査や拘留の噂に集約される移民法執行に対する懸念が、不法滞在の農場労働者に恐怖を植え付けている。capitalpress.com によると、労働者農民労働組合のエンリケ・ガステルムCEOは、サクランボの収穫開始時にこれらの噂がワシントン州の労働供給に与えた影響を指摘した。

家族がカリフォルニア州の高校を卒業するなどの社会的関わりも、労働者の移動の遅れの一因となっている。影響を受ける労働者の総数は不明であるが、一部の生産者は、今年の夏の労働市場は予想よりも逼迫していると報告している。

1997年からケネウィック、パスコ、ベントンシティ等の地域でフィンリーサクランボ園を運営する生産者のジョン・ゲイ氏は、過去2週間の労働者の流入が遅く、その数はもう少しでやっとピークに達しそうだと述べた。同氏の事業では、H-2Aビザ(季節農業労働者ビザ)の労働者を含め年間約50人を雇用している。同氏は、フィンリーサクランボ園での収穫において、移民労働者と地域の国内労働者の両方が重要な役割を果たしており、その中には25年以上前の農場設立以来関わっている人もいることを強調した。北西部では、前年と比較して約10%の生鮮サクランボの収穫量の増加を予測している。

ゲイ氏によると、労働力の確保に関する懸念に加えて、ワシントン州の果樹栽培者達は依然として、最低賃金の上昇、残業代の支払い、投入資材費の増加等、財政的な負担に直面している。これらの課題にもかかわらず、北西部のサクランボの約70〜80%は全米に流通しており、果実が倉庫に届いた時点で価格の決定権は倉庫側に移る。ゲイ氏は、今年の費用がどれだけ回収できたかを11月に評価する予定である。

ワシントン州果樹協会のジョン・デバニー会長は、ヘラルド紙が引用したように、消費者にとっての農産物価格の上昇と生産者の収入の減少との間の不釣り合いについて述べた。

出典: [Tri-City Herald](#)

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)